

## 初めての後期課程へ 4年生決意の始業式

松本秀峰中等教育学校



始業式で、小宮山校長（右）の話聞く松本秀峰中等教育学校の生徒たち

県内初の6年制「中等教育学校」として2010年度に開学した私立松本秀峰中等教育学校で3日、始業式が開かれた。全校生徒333人が出席。前期課程（中学校相当）を終えた同校1期生の4年生83人は、同校で初めてとなる後期課程（高校相当）への気持ちを新たにしました。

小宮山淳校長は式で、「前向きに力強く踏み出していこう」と激励し、2、4年生の代表がそれぞれ新年度の抱負を述べた。4年生は7、18日に研修で英国を訪ね、企業や病院などを見学する予定。ホームステイをしながら英語も学ぶ計画で4年生代表の林陽生君（15）は「岡谷市は「ホストファミリー」とうまくコミュニケーションを取りたい」と英語で抱負を述べた。